

# 岩野田・まち協だより

事務局/岐阜市粟野 岩野田公民館内 Tel.058-237-2619 岩野田まちづくり協議会

## 災害に備えて

岩野田まちづくり協議会  
会長 服部 康夫

今年の1月1日に、能登半島地震が発生しました。地域の特性もあり、未だに復旧作業が難航しております。正月を故郷でと帰省されて、犠牲となられた方も、かなりおられたことと思います。このように、災害はいつ起こるかわかりません。東海地震、東南海地震も近い将来に発生すると言われており、いつ起こるか心配です。

また、近年は線状降水帯による集中豪雨により、河川の氾濫、土砂崩れ、大規模な浸水被害が、毎年どこかで起こっています。台風も心配です。

当地域では、幸いなことに、昭和51年の9・12豪雨災害以降大きな災害は、経験していませんが、毎年、地震等を想定した防災訓練を行い、避難誘導、消火訓練、救助訓練等を実施してきました。最近では、避難所開設訓練も行っております。

今年度は、能登半島地震を教訓に、安否確認カードを使った、災害時安否確認訓練を中心に、防災避難訓練を実施したいと考えています。これは、あらかじめ各家庭に安否確認カードをお渡しし、訓練当日 玄関先に安否を掲げていただき、班長さんが確認の後 自治会長さんに報告し、皆んなで安否を共有しようとするものです。

また当日は、過去の災害から学び備える講座を、専門家の講師をお招きして実施する予定です。多くの方が参加されることを期待しています。



## 次代に繋ごう「岩崎みこし祭り」～5年ぶり コロナ禍前の活気と笑顔！～

4月7日(日)早朝6時、諏訪神社の神輿倉庫から本神輿と中神輿、花みこし、子どもみこしを出し、祭りの準備を始めました。8時に神主さんのご祈祷で出番を待つ神輿に神様が乗り移られ、9時に地域住民の担ぐ神輿が諏訪神社を出発しました。五穀豊穡、皆の健康や安全、地域の発展を願い岩崎地域を練り歩きました。



子どもみこしは、子ども会やボランティアの協力により200名を超える参加者で、笑顔と活気のあるみこしパレードとなりました。(来年のみこし祭りが楽しみです!)

昼食はJAぎふ岩野田支店のご支援・ご協力をいただき、炊出しボランティアによる地元食材を使った「みこしカレー」が300名の参加者に振舞われました。また、JAぎふ職員によるチャリティ「焼き芋の販売」が行われ、売上は能登半島地震義援金として寄付されました。

昼食後、大人神輿はJAぎふを出発し白山神社から岩崎公民館、15時過ぎに諏訪神社に到着。解散式で地域の皆さんと共に喜び、皆さんに感謝の1日となりました。(ありがとうございました!)

(岩崎みこし保存会 会長 神谷政人)

## 「第32回三田洞東さくら祭り」～夜の桜も華やかに～

4月6日(土)に「第32回さくら祭り夜桜ナイトウォーク」が三田洞東連合自治会により開催しました。

午前の子どもみこしに続き、18時30分から約150名の地域の皆さんが参加されました。小さなお子さんから高齢者の方々にぎわいました。



さくらがLED提灯に照らされて艶やかに映え、道と末洞川も輝き皆を笑顔にしました。4年ぶりに再開したバザーも、盛況で夜店のスタッフは大忙し、完売のメニューもできました。地域の高齢化がすすんでいます、次の世代を担う子どもたちの為にも三田洞東連合自治会はこの行事を続けて参ります。

(三田洞東連合会 副会長 駒木信幸)

## 「ゴキブリ退治だんご作り講習会」～皆が顔を合わせて～

5月12日(日)に三田洞東連合会 婦人部により「ゴキブリ退治だんご作り講習会」が開催しました。

コロナ禍により3年間の中断がありました。昨年より再開され今年も丸山美穂 婦人部部長を中心に準備・運営をされました。約40名ほどの地域の皆さんが公民館に集まり、講習を受けながらゴキブリ退治だんごを作られました。

婦人部の皆様、大変ご苦労様でした。(三田洞東 連合会 副会長 駒木信幸)



## 今年もやります！岩野田健康ウォーキング ～初回は「初夏の三田洞弘法」～

岩野田まちづくり協議会では、今年も年4回の健康ウォーキングを計画しています。岩野田にお住まいの皆さんとおしゃべりをしながらのウォーキングは、身も心も軽くしてくれます。

今年第1回目の健康ウォーキングは、5月18日(土)に地元の皆さんと一緒に美濃三弘法のひとつ三田洞弘法を訪ねました。

次回9月14日(土)は、岩野田のもう一つの古刹 霊松院さんを訪ねる予定です。皆さん、是非ご参加ください。(岩野田まちづくり協議会 事務局 田中久博)



## 特集:各種団体の紹介

### 岐阜市北消防団 岩野田分団 ～日々の訓練に励む団員たち～



岐阜市北消防団 岩野田分団は現在、10月27日(日)開催の「消防感謝祭」第73回岐阜県消防操法大会に向けて、JAぎふ方県カントリーエレベーターにて訓練を行っております。

「消防感謝祭」第73回岐阜県消防操法大会とは、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的として、昭和27年から開催されている伝統ある行事です。岐阜県では、毎年ポンプ車操法と小型ポンプ操法を交互に実施しており、今年度は小型ポンプ操法になります。小型ポンプを使用し、20mホースを3本つなぎ合わせ、ホース1線による放水を行います。

岩野田分団としては、今回で4回目の県大会出場となりますが4月から10月の本番当日まで計54日間訓練を予定しており、上位入賞を目指して20時~22時まで日々訓練に励んでおります。

近年、消防団員の確保が難しくなっております。興味がある方は、岐阜北消防署(TEL058-231-5308)までご連絡ください。(岐阜市北消防団 岩野田分団 副分団長 河野善宏)

### 岩野田水防団 ～地域の安心・安全をめざして～

水防団は大規模な洪水で、堤防だけでは防ぎきれない場合にその時の状況に合わせた水防工法を行って、被害を最小限に抑え地域の安心安全の為に活動をする団体です。岩野田水防団は、昭和31年2月7日に設立された岐阜市で一番最初の水防団です。

例年5月の最終の日曜日に岐阜市が主催する岐阜市連合演習(全34団)に出場します。本年度は水害の対処中に震度6以上の地震が発生したとの想定で、負傷者を市民病院まで防災ヘリコプターを使い搬送することを行いました。

また、6月中旬に岐阜市の北部の水防団による北部15団合同水防訓練が行われ、近隣の水防団と連携を図り技術の向上を図っています。

さらに、これから出水期を迎え、河川の増水により「水防団待機水位」を超えたら、詰め所に待機をして河川の巡回監視を行います。万が一河川が増水し住宅の方に侵水しようとした時には、樋門を閉鎖して水の侵入をくい止める作業もしています。

9月と10月に行われる岩野田・岩野田北両校区地区防災訓練にも参加しています。

水防団員は、大規模災害団員の任務も兼務しています。震度6以上の地震が発生した場合には、消防団と密に連絡を取り合い市民の安否確認、避難誘導、状況収集など多岐にわたり行うことになっています。

最後に水防団員が不足していますので、是非とも私たちと一緒に活動をしてくれる方を募集しています。よろしくお願ひします。(岩野田水防団 団長 野口弘明)





## 岐阜市赤十字奉仕団 岩野田分団 ～災害時の炊き出しは任せて～

赤十字奉仕団の主な活動の一つが、災害時における炊き出しです。包装食袋を使った調理法を紹介します。

包装食袋の特徴は衛生的・水の節約・お手軽です。使用する袋は日赤で推奨されているハイゼックスというポリ袋、市販されているアイラップという耐熱温度が110℃あるものであれば使用できます。

普段炊飯しているお米で炊飯できます。ここでは白米の炊き方を紹介していますが、一緒に具材を入れて炊く事で、炊き込みご飯等のアレンジが出来ます。

### 使用する包装食袋



**基本編 白米の炊き方**

- 01 米100gと水100ccを入れる。  
※米と水は同量  
※無洗米の場合は水も2〜3割多めに入れる
- 02 中の空気をしっかり抜き、固く結ぶ。
- 03 沸騰した湯の中に入れ、30分煮る。  
※袋を入れた時点で一時的に温度が下がるので、再び沸騰してから30分
- 04 30分過ぎたところで湯から引き上げ、5〜10分蒸らして完成。  
※袋を、指で袋に刺して召し上げ

正しい炊き方はコチラ

- 1 水が少し上るところをつまむ
- 2 下をまわしてひねる  
つまんだところは押えておく
- 3 矢印部分は押さえておき、上をしぼる
- 4 今度は上を押さえねじれをもどす
- 5 上を押さえたままたいらにねかせてみる  
空気の玉があればやり直す
- 6 空気がなければ袋の口をそのまま固く結ぶ  
なるべく上の方で結ぶ

(岐阜市赤十字奉仕団岩野田分団 副団長 林 善子)

## 交通安全協会 岩野田支部 ～交通死亡事故0をめざして～



岐阜北地区交通安全協会岩野田支部です。日頃は交通安全活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。私達は、毎月15日頃及び年4回の県民交通安全運動期間中、最初と最終日に街頭啓発活動を行っています。また、小学校での交通安全教室や神仏温泉での啓発活動など地域の皆さんと共に活動させていただいております。

昨年は、岩野田地区において交通死亡事故が上半期だけで3件発生しましたが、今年は現在のところ0件と皆様のご協力のおかげと感謝しております。

交通事故が多発する3大要因は、①夜間 ②高齢者 ③市道(生活道路)です。夜間の外出時は反射材を付けたり明るい服装を着用したりして、運転者に自分の存在をアピールするよう心がけてください。今後とも皆様方にご協力賜りますようお願い申し上げます。

(交通安全協会 岩野田支部 支部長 北潟睦郎)

## 岩野田体育振興会 ～地域住民の「つながり」を大切に～



私達岩野田体育振興会は岩野田地域の体育振興を図るため活動している団体で、岩崎、三田洞、三田洞東、北洞の各地域で構成され活動しています。

ここ数年コロナウイルスが猛威を振るい活動がストップしていましたが、昨年秋に久しぶりに第一回レクリエーションフェスティバルを岩野田小学校体育館で開催する事ができました。

回覧で参加のお願いしたところ50名程の参加者があり、ペタンク、輪投げ、スカットボール等を楽しんでいただけ、初めて会う人がいつの間にか協力レゲームに没頭する姿があり微笑ましく思いました。今年の秋には第二回レクリエーションフェスティバルを開催しますので、昨年以上の幅広い年齢層の方に参加していただきたいと思えます。

最近、全国何処かで大きな災害が発生している現状下、それに備え常日頃から地域住民ひとりひとりの「つながり」が求められています。その第一歩として体育振興会行事を通じてそのきっかけになれば幸いです。

最後に、体育振興会は今後も地域住民の方の健康増進と地域住民の更なる「強いつながり」となるよう色々と行事計画を進めて参ります。その都度回覧板等にてご案内しますので、たくさんの方の参加をよろしく願います。  
(岩野田体育振興会 会長 乾 義明)

## 岩野田女性防火クラブ ～火災予防の取組みをとおして～

2019 年末よりコロナが流行し、人との距離が気薄な状況となりました。自治会の活動や、学校生活まで制限される世の中が長く続き、人と関わる事のない生活に慣れてしまったとはいえ、どこか寂しい思いをされた方もいたのではないのでしょうか。

やっと元の生活に戻りましたが、今度は異常気象の大雨や大地震などの自然災害も増えつつあります。能登半島地震はいまだに地域の人たちの生活に影響を及ぼしています。もし自分たちの町で災害があった時、近隣の人たちと助け合うことが命を守る重要なポイントになると思います。高齢化もすすみ、まだまだ課題も多いですが、少しでも地域の力になればと思います。

女性防火クラブの活動につきまして、消防関係等地域と連携を取りながら岩野田自治会の活動、町づくり協議会にも参加し、岩野田地域の人々と友好的な地域づくりに力を入れ、強い絆で助け合える町を目指します。

(岩野田女性防火クラブ 会長 長屋 忍)



## 岐阜市地域包括支援センター岩野田 ～暮らしの安心相談窓口～

岐阜市地域包括支援センター岩野田は、高齢者の皆さまが住み慣れたこの岩野田地域で安心して暮らしていただくための総合相談窓口です。センターには、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の三職種が従事しており、主に以下4つの役割がございます。

1. 介護、医療など生活全般における様々なご相談を受けつけ、解決に向けてご支援いたします。
2. 要支援・要介護になるおそれのある方に対し、ケアプランを作成して介護予防サービスの調整を図ります。また要介護状態にならないよう健康づくりの普及啓発活動も行っております。
3. 高齢者虐待への対応や成年後見制度活用の普及活動などを行っております。
4. 皆さまが住み慣れたこの地域で生活を継続できますよう、ケアマネジャーや医療機関等様々な機関とのネットワークづくりを進めています。



ご自身の心身の衰えなどで困りごとが生じた場合、またはご家族などを心配される場合など、ぜひお気軽にご相談ください。

社会福祉協議会岩野田支部さんと地域づくりを目的とした協議会も行っております。

(岐阜市地域包括支援センター岩野田 所長 木下 梨恵)

## 岩野田中学校の制服がかわります

- LGBTQ への対応を考え、3パターンのスタイルから選んでいただけます。
- 両襟には、県内初の細い白ラインを入れひと目で岩野田中学生と分かります。また、ジャージの胸のラインとリンクさせています。
- スラックス、スカートにはスクールカラーのエンジ色の糸を配色しました。
- ネクタイ、リボンにもエンジ色を基調とし、白いラインを入れました。
- ボタンは、生徒からのアンケートにより校章を入れる案が多かったため、校章を中心にアレンジしました。
- 両袖には、背後からの光に反射する反射素材のラインを付けました。
- 胸ポケットには、プレート名札を付けるための布がインナーにあります。



なお、令和7年度からの2年間を移行期間として現行の制服も認めていきます。3年後からは完全移行としますが、ご家庭の事情により現行の制服を使用したいと申し出があった場合には認めていきます。

(岐阜市立岩野田中学校 教頭 安池重和)

## 事務局だより ～夏本番～



いつも「岩野田・まち協だより」をお読みいただきありがとうございます。2024年7月【15号】はいかがでしたでしょうか。今回の「まち協だより」は、4月～6月に行われた自治会行事の他、岩野田地区で日々ご活躍の各種団体の皆さまにお願いして、それぞれの活動内容を紹介していただきました。また、来年度より岩野田中学校の制服が一新されるとの情報がありましたので、そのデザインを紹介していただきました。この「まち協だより」が皆さまのお手元に届くころには、梅雨も明けさわやかな夏の日差しになっていると思います。今年の夏も暑くなりそうです。くれぐれも体調には気を付けて、この夏を元気で過ごしてください。

岩野田まちづくり協議会 事務局 (久)

【岩野田地区人口統計】令和6年6月1日現在 世帯数 3,371 世帯 人口 6,917 人 (男 3,269 人、女 3,648 人)